



2025年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社 ジイ・シイ 企画  
代 表 者 名 代表取締役社長 高木 洋介  
(コード番号：4073 東証グロース)  
問 合 せ 先 代表取締役副社長経営管理本部長 丸山 英幸  
(TEL. 043-464-3348)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年5月15日開催の取締役会において、2024年8月14日に公表しました2025年6月期の通期業績予想を修正することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2025年6月期の通期個別業績予想数値の修正（2024年7月1日～2025年6月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 1,907	百万円 61	百万円 36	百万円 34	円 銭 13.81
今回修正予想（B）	1,832	△110	△144	△151	△60.37
増 減 額（B－A）	△74	△172	△180	△185	
増 減 率（％）	△3.9	—	—	—	
（参考）前期実績 （2024年6月期）	1,740	58	44	72	29.07

#### 2. 修正の理由

ペイメントインテグレーション事業については、期初計画で見込んでいた既存ユーザーのリプレイスや機能追加を行う一部案件において、システム要求の多様化やユーザーの経営状況等の変化によるIT投資に対する方針の変更が発生したことや、当社が提供する決済システムと当社が関与しない他のシステムとの間で、データを連携させる顧客ニーズの高まりから、それら他のシステムのスケジュールに合わせて導入する必要があるなど、システム導入までのリードタイムが長期化し、売上が来期以降へ期ずれすることとなりました。

以上のことから、当第3四半期会計期間において、期初計画しておりました新規システム導入やリプレイスの受注と売上の時期の見直しを実施した結果、ペイメントインテグレーション事業の売上高は708百万円となり、前回発表予想値より83百万円減少する見込みとなりました。

ペイメントサービス事業は、サブスクサービスの開始により売上を確保したことで、ペイメントサービス事業の売上高は1,124百万円となり、前回発表予想値より8百万円増加する見込みとなりました。上述した新規ユーザー獲得による売上増も見込んでおりましたが、ペイメントサービス事業は、ペイメントインテグレーション事業の受託開発案件及び端末販売の納品後から売上計上されるため、上述したリプレイスの需要停滞の影響を受けると考え、期初計画について見直しを行いました。

費用面では、ペイメントサービス事業において、電子マネーユーザー増加に伴う外部支出費用の増加等により利益率が低下しました。

また、当社は仕入日から一定期間を超える棚卸資産（商品）について、個別に得意先からの受注見込等を検討したうえで、回収可能性を判断しておりますが、当第3四半期会計期間において、棚卸資産評価損29百万円を売上原価に計上しました。

ユーザーのシステム要求の多様化に対応するための決済ASPサービスの機能拡充や新機種決済端末の開発及び新事業の研究など研究開発は積極的に実施しました。

この結果、営業利益、経常利益は前回発表予想を下回る見通しとなりました。

引続き、営業アライアンス先の拡充に取り組み、営業活動を強化することで、売上高を伸ばすとともに、営業黒字に転換すべく経営資源の配分を見直すことで、収益力の回復、経営基盤の強化に努めて参ります。

※ 上記予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上